

福島第一原子力発電所 6号機タービン建屋地下1階 ヒータールーム内における油漏えいについて

< 参 考 資 料 >
2021年4月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 本日（4月27日）午前9時14分、6号機タービン建屋地下1階ヒータールーム内にあるCO2消火設備の配管の下部等において、油らしきものがあることを、当社社員が確認し、双葉消防本部へ119番通報を実施しました。また、現場確認の結果、結露水と判断し、その後消防より「その他誤報」と判断されました（図2）。
- その後、現場確認を行っていたところ、午前10時55分、同ヒータールーム内にあるITV（カメラ）用端子箱の中に、油が溜まっていることを、当社社員が発見しました（図3）。
- ITV用端子箱内の油溜まりの範囲は、約20cm×約15cm×深さ約3mmであり、油は端子箱内に留まっております。また、油溜まりについて、拭き取り回収を行い、油の流入がないことを確認しました。
- その後、消防による現場確認の結果、結露水と判断していた油らしきもの、およびITV用端子箱内の油溜まりについて、午後1時00分「油漏れ事象」と判断されました
- 今後、油が漏れた原因について、現場確認等を行い、原因が分かり次第、適切に再発防止対策を講じてまいります。



図1.6号機タービン建屋位置図

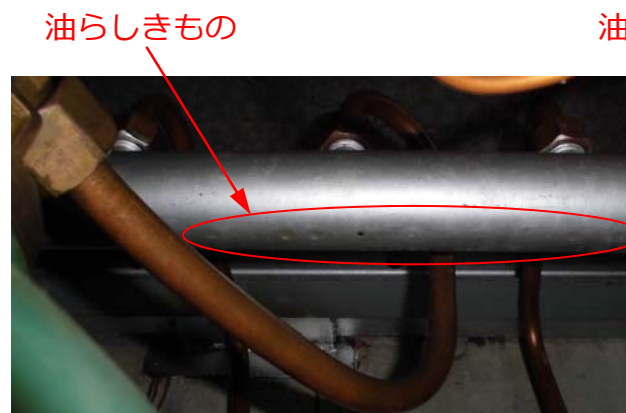


図2.CO2消火設備配管下部の状況

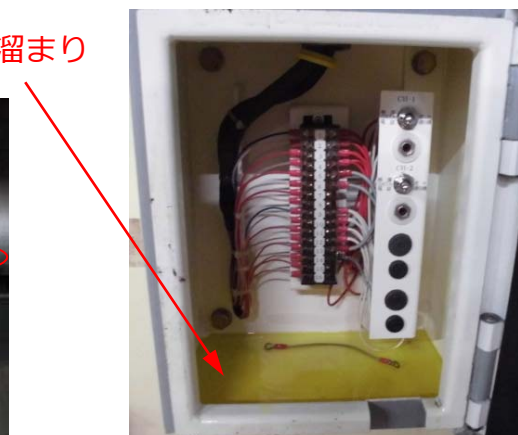


図3.ITV用端子箱内の状況